

平成30年7月7日

「第12回木曾川と堀川・上下流をつなぐ交流会」報告

広報 谷田耕三

7月1日、今回は長野県木曾郡上松町の赤沢自然休養園を会場として行われました。前日までの梅雨空から一転晴れとなった日、下流側の名古屋から上流の上松地域へ約80名が参加しました。参加者は市の行政関係者、学識経験者、民間団体などで考える会からは51名が参加しました。

7時過ぎにテレビ塔北から大型バス2台で出発し、中央道経由中津川インターから国道19号線を走りました。19号線はご存知の通り木曾川に沿った道で、木曾川の水は昨日までの雨天にも関わらず青く澄み切った水でした。普段堀川を見ている私には羨ましい限りです。上松町から山道に入り10時30分赤沢自然休養園に到着です。

ここは森林浴発祥の地 赤沢美林といわれています。ここから赤沢森林鉄道（トロッコ列車）に乗り丸山渡まで1.1kmを楽しみ、下車後地元のボランティアガイドさんの案内で、ヒノキ、サワラなど木曾の山の中を散策し、森林公園の歴史や種々の植物の説明を受けました。

昼食後、森林教室広場で地域の方、ボランティアガイドさんとの意見交流会があり、感想など意見交換を行い、伊東名古屋市副市長、大家上松町長のからの感想をいただき、記念撮影を行い、終了しました。バスに乗り午後6時30分全員元気で名古屋に帰着しました。



トロッコ列車でいざ出発



ガイドさんの説明で森の中へ



参加者全員で記念撮影 これからもよろしく!!